

平成 29 年度 障害者虐待防止リーダー職員研修会

開催要綱

1. 目的

平成 24 年 10 月に障害者虐待防止法が、平成 28 年 4 月には障害者差別解消法がそれぞれ施行されるなど法の整備が進み、国として障害を理由とする差別の禁止ならびに一人ひとりの人権の尊重をめざした社会づくりが推進されている。

しかし、厚生労働省が実施した障害者虐待対応状況調査（平成 27 年度）によると、市区町村等への相談・通報件数及び虐待判断件数ともに年々増加しており、法の浸透や虐待の発見という面での効果は表れてきた一方、虐待の減少にはつながっていない実態がある。障害福祉施設・事業所における虐待報道も後を絶たず、虐待の防止及び権利擁護の取組みは障害福祉関係者全体で対応すべき喫緊の課題である。

このような状況のなか本会では、障害者支援施設・事業所、厚生関係施設等における虐待防止・権利擁護の理念徹底と具体的な取組みを推進するために、その要となるリーダー職員に向けて昨年度より本研修会を開催している。

今年度は、実際に発生した虐待事例をもとに、施設・事業所内で発生しやすい虐待の内容や発生要因・環境等を検証しつつ、日常業務の中で虐待を生まない支援・体制のあり方等について学ぶことを目的に開催する。

2. 主催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

3. 企画・運営 障害者虐待防止リーダー職員研修会運営委員会

(全国社会就労センター協議会、全国身体障害者施設協議会、全国社会福祉法人経営者協議会、全国厚生事業団体連絡協議会、全国身体障害者福祉施設協議会、日本知的障害者福祉協会)

4. 日程 平成 30 年 1 月 22 日 (月) ~ 23 日 (火) 【2 日間】

5. 会場 全国社会福祉協議会「灘尾ホール」

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル L B 階

6. 定員 200 名

7. 参加対象

障害者支援施設・事業所、厚生関係施設等における、虐待防止のためのリーダーとなる職員及びそれに準ずる者

8. 参加費 15,000円

9. 情報交換会費 3,000円

10. プログラム

時 間	プログラム
1日目	
13:00～13:10	開会式 障害者虐待防止リーダー職員研修会運営委員会座長 白江 浩 氏 (全国身体障害者施設協議会副会長・権利擁護委員長)
13:10～14:10 (60分)	講義Ⅰ 「障害者の権利擁護に関する施策の動向と、福祉施設・事業所における障害者虐待の現状と課題について」 障害者虐待防止リーダーとして、障害者の権利擁護に関する現状や課題、施策の動向、福祉施設・事業所で求められる対応等その全体像について学ぶ。 【講師】 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部地域生活支援推進室 虐待防止専門官 片桐 公彦 氏
14:10～15:10 (60分)	講義Ⅱ 「施設・事業所における虐待防止リーダー職員のあり方について」 虐待防止の取組みを進めるリーダー職員として期待される資質や対応、虐待を起ささないための風通しのよい職場環境づくり等について考える。 【講師】 東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授 竹之内 章代 氏

時 間	プログラム
15:25～17:30 (125分)	<p>オープンディスカッション</p> <p>「事例からみる福祉施設・事業所に求められる利用者の権利擁護・虐待防止に向けた取組み」</p> <p>具体的な事例をもとに、虐待が発生してしまった要因、その後の対応、施設の取組みなどを学び、自施設の実践を振り返る。そして、利用者の権利擁護・虐待防止について、支援現場としてどのような視点から課題を的確に捉え、適切な支援につないでいくべきかについて、施設・事業所に関わる様々な関係者の意見を伺いつつ、そのあり方について考える。</p> <p>コーディネーター</p> <p>障害者虐待防止リーダー職員研修会運営委員会座長 白江 浩 氏 (全国身体障害者施設協議会副会長・権利擁護委員長)</p> <p>登壇者</p> <p>明治大学教授／弁護士 平田 厚 氏 全国救護施設協議会 副会長 木間 幸生 氏 長野県知的障がい福祉協会 会長 宮下 智 氏 事例提供者 2名</p>
17:45～19:00	情報交換会 (任意参加)

2 日 目	
9:30～12:00 (150分)	<p>グループディスカッション (分散会)</p> <p>事前課題として持ち寄った自施設での困難事例をもとに、意見交換を行い、原因や予防策、通報 (介入) のタイミングや再発防止に向けた検討を行う。</p>
12:00～13:00	昼食・休憩
13:00～14:30 (90分)	<p>全体会</p> <p>分散会 (障害種別ごと) のグループディスカッションでの協議内容を共有し、他施設・事業所での取組みを学ぶとともに、利用者の権利擁護・虐待防止に向けた取組みへの理解を深める。</p> <p>【登壇者】 運営委員会委員 4名 (各分散会担当者)</p> <p>【助言者】 東北福祉大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授 竹之内 章代 氏</p>
14:30～14:35	<p>閉会式</p> <p>障害者虐待防止リーダー職員研修会運営委員 木間 幸生 氏 (全国救護施設協議会副会長)</p>

11. グループディスカッションに向けた事前課題の提出について

2日目のグループディスカッションでの議論を深めるため、「事前課題（事前提出用シート）」を参加者全員にご提出いただきます。ご自身が他の参加者に内容を説明できるよう準備をして、研修会にご参加ください。当日の研修会には、あらかじめ事務局にご提出いただいた「事前課題（事前提出用シート）」全員分を印刷・配付します。

<提出方法・留意点>

（1）事前課題（事前提出用シート）について

- 所定様式(全社協ホームページからダウンロード)をご使用ください。
全社協 HP (<http://www.shakyo.or.jp/index.htm>) ホーム > 「新着情報」
- 「事前課題(事前提出用シート)」の枠の大きさは必要に応じて拡張してください。シートは合計A4判1ページに収めてください。
- 個人情報の取扱いにご留意願います。
※ 必要に応じて、事務局にて加除修正させていただく場合があります。
- 1施設から複数ご参加の場合、お1人ずつご提出をお願いします。

（2）事前課題（事前提出用シート）の提出

- 全社協高年・障害福祉部事務局 (z-shogai@shakyo.or.jp) 宛に電子メールでお送りください。
- 添付する事前課題のファイル名は、「事前課題(〇〇県、〇〇苑)」としてください。
- 電子メールの件名は、「H29 障害者虐待防止リーダー職員研修会：事前課題(〇〇県、〇〇苑)」としてください。また、「開封確認」を要求するよう設定してください。
- 提出期限は、平成29年12月18日(月)必着でお願いします。

12. 申込締切

平成29年12月18日(月) ※ 定員となり次第締め切らせていただきます。

13. 申込方法

参加・昼食申込等の受付については、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店が執り行います。別添申込書に必要事項をご記入のうえ、お申込ください。

名鉄観光サービス(株)新霞が関支店 [担当： 波多野、山辺]

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル LB階
TEL 03-3595-1121 FAX 03-3595-1119

14. 情報保障

手話通訳、要約筆記、磁気ループをご希望される方は、申込書の「備考欄」にご記入ください。

15. 個人情報の取り扱い

- (1) 「申込書」にご記入いただいた個人情報につきましては、申込受付等委託業者（名鉄観光サービス(株)新霞が関支店）と全国社会福祉協議会事務局で共同利用させていただきます。
- (2) 個人情報は、参加申込受付、参加にあたり希望される宿泊等のサービス提供など、研修会の運営に必要な範囲内で使用いたします。
- (3) 参加者の把握、交流に資するため、「申込書」をもとに参加者名簿（都道府県名、参加者氏名、施設・事業所名、施設・事業種別、役職名、参加分科会等）を作成し、当日参加者に配布いたしますので、ご了承ください。

16. 研修会に関するお問い合わせ先（事務局）

全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部事務局〔担当：高柳、寺西、永田〕

〒100-8980東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-6502 FAX 03-3581-2428

E-mail : z-shogai@shakyo.or.jp

平成 29 年度 障害者虐待防止リーダー職員研修会
「事前提出用シート」

都道府県		会員施設名	
フリ 氏	ガナ 名	施設・事業種別	
職 種		勤務経験年数	約 年

1. 貴施設において、利用者の人権侵害や虐待、それらにつながりかねない不適切なケアや支援についての事例、事業運営上の課題、あるいは参加者自身の悩みや不安についてご記入ください。

--

2. 「1」でご回答いただいた内容に関して、これまでに貴施設で取り組まれた対応がありましたら、ご記入ください。

--

3. 「1」「2」の内容を踏まえ、本研修会のグループディスカッションで又は意見交換検討したい課題・テーマについて、ご記入ください。

--